

広島市の下痢症患者由来サルモネラの血清型別（2009 年）

生 物 科 学 部

は じ め に

広島市内で発生した下痢症の状況を把握するため、当所では、分離された菌株について疫学的な解析を続けている。

2009 年に分離されたサルモネラ菌株(チフス菌を除く)の血清型別および薬剤感受性試験の結果について、その概要を報告する。

方 法

1 材料

2009 年に分離されたサルモネラ 7 株を供試した。

2 血清型別

市販のサルモネラ診断用免疫血清(デンカ生研)を用い、常法に従い血清型別を行った。

3 感受性試験

ABPC, SM, CP, TC, NA, KM の 6 薬剤に対する感受性を、1 濃度ディスク法で測定した。

結 果

1 サルモネラの分離状況

過去 4 年間の分離株数を表 1 に示した。2009 年は 7 株で、2006 年以降横ばい状態の検出傾向にあったが、2009 年は減少した。

2 血清型別検出状況

血清型別検出状況を表 2 に示した。分離された 7 株は 4 種類の血清型に分けられた。*S. Enteritidis* が 4 株(57.1%)で最も多かった。

3 薬剤耐性

薬剤耐性パターンを表 3 に示した。ABPC と NA の 2 剤耐性が 1 株, NA 単剤耐性株が 1 株認められた。耐性株はいずれも *S. Enteritidis* であった。

謝 辞

この調査にご協力いただきました保健所および医療機関の関係各位に対し、深謝いたします。

表 1 年別サルモネラ分離状況

0 群	年別分離菌株数			
	2006	2007	2008	2009
04	8	12	8	2
07	9	6	12	0
08	0	2	3	1
09	4	8	6	4
計	21	28	29	7

表 2 血清型別検出状況

血清型	分離菌株数
04 <i>S. Typhimurium</i>	1
<i>S. Saintpaul</i>	1
08 <i>S. Narashino</i>	1
09 <i>S. Enteritidis</i>	4
計	7

表 3 薬剤耐性パターン

耐性パターン	<i>S. Enteritidis</i>	<i>S. Typhimurium</i>	<i>S. Saintpaul</i>	<i>S. Narashino</i>
NA	1			
ABPC/NA	1			
感受性	2	1	1	1
計	4	1	1	1